

令和２年度進行管理・評価シート
名古屋市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 計画の実施・推進体制	1
--------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観計画	2
--------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備	3
2 名古屋城二之丸庭園の整備	4
3 名古屋城石垣の整備	5
4 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の 保存・公開と市政資料館としての活用	6
5 文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営	7
6 文化のみち榎木館の管理運営	8
7 名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁舎の歴史的価値の維持向上	9
8 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)	10
9 歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区)	11
10 歴史的町並み保存事業(四間道地区)	12
11 徳川園の管理運営	13
12 蓬左文庫の保存と公開活用	14
13 堀川の総合整備	15
14 尾張名所図会看板の整備	16
15 中川運河の再生	17
16 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)	18
17 史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業	19
18 歴史的建造物の登録・認定	20
19 なごや歴まちびとの派遣	21
20 文化のみちの推進	22
21 指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業	23
22 まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援	24
23 名古屋城本丸御殿障壁画復元模写	25
24 名古屋城本丸御殿障壁画保存修理	26
25 郷土ゆかりの文学資料室	27
26 水上交通ネットワークの検討	28
27 「ものづくり文化の道」推進事業	29
28 中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業	30
29 熱田区役所における歴史資料展示	31
30 名古屋まつり	32
31 山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、 及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業	33
32 伝統産業若手育成事業助成	34

33 伝統産業新商品開発事業助成		35
34 伝統産業製品PR事業助成		36
35 名古屋市民芸術祭		37
36 なごや子どものための巡回劇場		38
37 名古屋市芸術文化団体活動助成		39

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の 策定・見直しなど		40
2 文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の 周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など		41
3 防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) 文化財防火デー等の防災訓練の取組		42
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援 4 (保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、 民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等		43
5 埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)		44

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 45

⑥その他(様式1-6) 46

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 47

名古屋市 - 1

評価軸②

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
景観計画		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 都市景観形成地区における良好な景観形成、景観上重要な建造物等についての保全(景観重要建造物・景観重要樹木・都市景観重要建築物等)、屋外広告物の規制

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築・増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、良好な景観形成に努めた。

- ・都市景観形成地区における届出件数 [令和元年度] 551件 [令和2年度] 165件 ※件数減は広告物の届出対象見直しによる
- ・都市景観重要建築物等への助成 [令和元年度] 3件 [令和2年度] 1件
- ・屋外広告物許可 [令和元年度] 11,469件 [令和2年度] 11,529件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・地域の特色に合わせた景観形成基準等に基づく助言・指導の実施。 ・四間道都市景観形成地区指定をきっかけとして那古野一丁目地区の景観まちづくりを推進しているが、景観に関するルールづくり等について具体的な検討が必要。

状況を示す写真や資料等

○名古屋市景観計画

「歴史の深みを感じさせるまち」を始めとする4つの目指すべき都市のイメージの実現を図ることを全体方針に掲げ、良好な景観の形成を図っている。

1. 都市景観形成地区(8地区)

届出等の制度により景観形成基準等への適合を確認し、助言・指導等を実施。(建築物・工作物/広告物)

【令和2年度の届出等の状況(件数)】

地区名	建築物・工作物	広告物	地区名	建築物・工作物	広告物
久屋大通	20	17	築地	3	6
広小路・大津通	15	54	今池	2	10
名古屋駅	5	16	白壁・主税・榎木	6	0
四谷・山手通	5	5	四間道	1	0

合計165件

2. 大規模建築物等

届出等の制度により景観形成基準等への適合を確認し、助言・指導等を実施。

【令和2年度の届出等の状況】建築物・工作物 157件、広告物 50件

3. 眺望景観の保全

平成31年4月より名古屋城眺望景観保全エリアと景観形成基準を新たに設け、大規模建築物等の届出等の制度により、助言・指導等を実施。

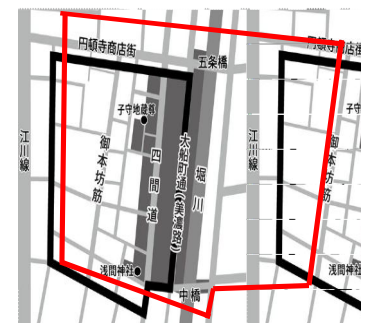
【令和2年度の届出等の状況】建築物 5件

4. 屋外広告物

都市景観形成地区内の屋外広告物及び大規模な屋外広告物について、色彩などの制限を定め、屋外広告物条例による、表示や設置に関する規制と合わせて助言・指導を実施。

【令和2年度の届出等の状況】広告物 158件

< 検討中のエリア >



☒ 街なみ環境整備事業対象区域
 ☒ 那古野一丁目地区検討エリア
 ☒ 那古野一丁目地区

○新たな地区の検討(那古野一丁目地区の景観まちづくり)

1. 景観まちづくりの推進

①事業の概要

・四間道を都市景観形成地区に指定したことをきっかけとして、その西側に隣接する那古野一丁目地区が狭い路地や瓦屋根の木造住宅が残る非常に魅力的な地域であることから、景観に関するルール化を見据えたまちづくりを推進する。

②経緯

- ・地元勉強会・準備会開催(平成30年～令和2年6月計13回)
- ・推進委員会の設立・開催(令和2年7月～計3回)

③今後の進め方

・那古野一丁目地区景観協定を認可し地元主体で運営を行うとともに、地区計画の導入を検討する。

2. 街なみ環境整備事業の推進検討

①事業の概要

・四間道地域全体の魅力向上を図るため、国の補助制度である街なみ環境整備事業の制度を活用し、電線地中化や防災、建物の修景などの実現に向け検討する。

②今後の進め方

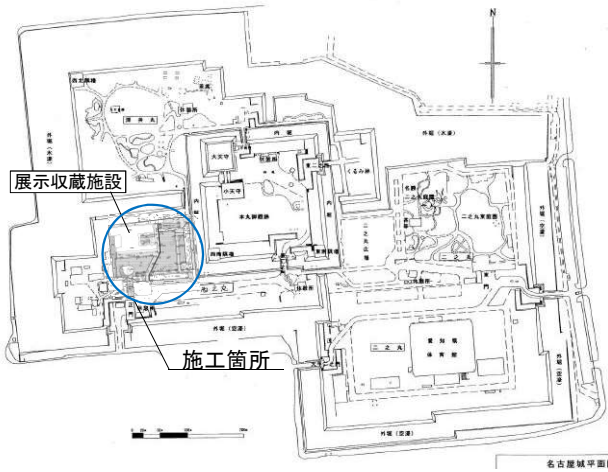
・令和4年度の事業化に向けた庁内調整・地域調整等



推進委員会の様子

評価軸③-1

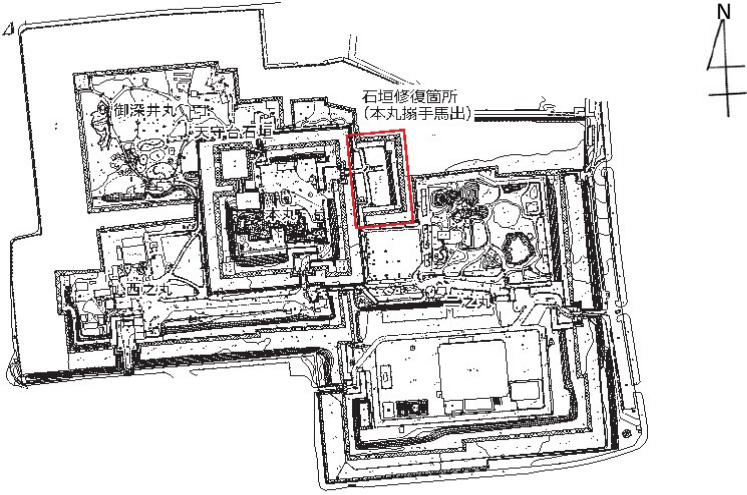
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	名古屋城本丸御殿障壁画をはじめとした名古屋城の重要文化財等を積極的に市民に公開するための展示・収蔵施設の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度は、名古屋城重要文化財展示収蔵施設整備構想を策定した。 平成26年度は、展示収蔵施設予定地の埋蔵文化財発掘調査を行った。 平成27年度に展示収蔵施設の基本設計、平成28年度に実施設計等を行った。 平成29年度に展示収蔵施設の建設工事に着手し、平成30年度に竣工した。 令和元年度は、外構工事で遺構をき損し、これに伴う調査が必要となったことから、工事を一時中止した。 令和2年度は、外構工事を再開し、展示収蔵に必要な舗装等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		展示収蔵施設の令和3年度秋の本格開館を目指し、遺構の残存状況を把握するための再調査を行った上で、外構等の整備を進める。	
状況を示す写真や資料等			
 城内配置図		 御米蔵構図(原図は「金城温古録」所収) ※展示収蔵施設は、江戸期の米蔵の位置や姿にならい建物、外構の整備をすすめている	
 展示収蔵施設南側(東から撮影)		 展示収蔵施設北側(東から撮影)	

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
名古屋城二之丸庭園の整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	名勝名古屋城二之丸庭園保存管理計画に基づき、庭園の本格的な保存整備に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 平成25・26年度に石組の崩壊を招いている又は招く樹木の伐採、平成26年度に権現山並びに笹巻山の修理を行った。 平成27年度は権現山山頂の社跡の遺構再現表示と石段の復元整備及び権現山西側の築山修復を行った。 平成28年度は栄螺山の盛土修復及び権現山西側の築山の修復を行った。 平成29年度は北園池の岩組、護岸、中島、築山周辺の修復を行った。 平成30年2月には国指定名勝庭園区域が拡大された。 平成30年度は余芳移築再建予定地周辺の一次造成及び北園池の石組の修理を行った。 令和元年度は北園池の石組の傾倒及び亀裂の修理等を行った。 令和2年度は北園池に至る園路の飛石、石段の修理等を行った。 平成25年度以降、二之丸庭園の文化的価値と魅力の周知を目的とした発掘調査現地説明会実施等を継続し、歴史的風致の維持向上に寄与している。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	名勝名古屋城二之丸庭園の往時の景観を取り戻すため、庭園の修復・保存整備を進める。		
状況を示す写真や資料等			
北園池に至る園路の飛石の修理			
			
着手前		完了(令和3年3月)	
北園池に至る園路の石段の修理			
			
着手前		完了(令和3年3月)	
			
技術職員研修の実施 令和3年2月5日 参加者13名		二之丸庭園平面図(部分) 施工箇所	

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
名古屋城石垣の整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和50年度～		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	特別史跡名古屋城跡の重要な要素である名古屋城石垣について、修復工事等を実施し、歴史的景観を保全する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大きな孕みがみられた本丸搦手馬出(からめてうまだし)周辺石垣について平成14年度から継続して修復工事を行っている。平成25年度までは、石垣の取り外しを実施した。平成26,27年度は、根石の調査を実施した。 平成28、29年度は、石垣前面の地盤補強工事として砕工を実施した。 平成25～28年度に、修復現場見学会を開催した。 平成30年度は、平成26年度から行った調査や地盤補強のために中断していた石垣の取り外しを再開し最下段までの取外しを実施した。 令和元年度は石材補修工、仮設通路工、石材調査等を実施し、石垣の積み直しに向けた準備が進んだ。 令和2年度は、逆石調査、石材劣化調査、石材補修工等を実施し、積み直しの設計に向けた準備が進んだ。 今後、石垣を適切に積み直すことで、名古屋城の歴史的魅力的の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与していくことができる。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		早期の積み直し着手に向けて、関係機関と調整しながら実施設計を進める。	
状況を示す写真や資料等			
 石垣整備箇所(本丸搦手馬出)			
 修復工事前の石垣(平成14年度)		 修復工事中の石垣(令和2年度末)	

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成元年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」を市の公文書館である「名古屋市市政資料館」として活用し、市政・司法・建物に関する資料の展示等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
公文書の収集、資料の常設展示のほか、企画展を開催した。 文化のみちにある施設と連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に寄与している。			
令和2年度入館者		45,878人(令和3年3月末現在)	
令和元年度入館者		96,841人	
平成30年度入館者		101,446人	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大下であったが、入館時の手指消毒等の感染防止対策を実施しながら可能な範囲で企画展やイベントを実施した。今後も新型コロナウイルスの感染状況を勘案しつつ、引き続き企画展やイベントを実施していくが、これまで以上に費用対効果が高いPR手法を選択するため、より経済的かつ効果的な広報媒体・広報ツールのリサーチ及び活用が必要である。		
状況を示す写真や資料等			
●企画展 「夏休み子ども企画展 名古屋市のうつりかわり」 「ファッションショーができるまで」 「江戸川乱歩と名古屋」 「モノづくり名古屋 ランドセルの軌跡展」 令和2年 7月21日～令和2年 8月30日 令和2年10月31日～令和2年11月 6日 令和2年11月 1日～令和2年11月15日 令和3年 3月 5日～令和3年 3月14日 期間中入館者5,007名 期間中入館者1,681名 期間中入館者4,260名 期間中入館者3,233名 ●主なイベント 「中央階段 つちびな大集合」 令和3年 3月 3日～令和3年 3月 6日 期間中入館者2,038名			
  			
夏休み子ども企画展 名古屋市のうつりかわり 令和2年7月21日～令和2年8月30日 期間中入館者5,007名 「中央階段 つちびな大集合」 令和3年3月3日～令和3年3月6日 期間中入館者2,038名 モノづくり名古屋 「ランドセルの軌跡」展 令和3年3月5日～令和3年3月14日 期間中入館者3,233名			

令和2年度		令和2年度
項目		現在の状況
文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成16年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史的建造物である文化のみち二葉館の保存・活用を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
川上貞奴が居住した建物を創建当時の姿に移築復元し、文化のみちの拠点施設として平成17年2月8日より一般公開している。文化のみちの情報発信、川上貞奴に関する資料・郷土ゆかりの文学資料の展示、そして企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。年3回、施設の無料開放日を設け、施設の利用向上を図っている。文化のみちにある施設と連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に寄与している。		
【定量的評価】		
令和2年度	入館者数14,322人	貸室稼働率22%
令和元年度	入館者数28,252人	貸室稼働率39%
平成30年度	入館者数32,686人	貸室稼働率22%
※令和2年度は名古屋まつり中止。		
無料開放日		
2月8日	7月17日	名古屋まつり
315人	91人	—
1,544人	86人	1,146人
868人	72人	849人
利用者満足度 99%		
利用者満足度 99%		
利用者満足度 98%		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
新型コロナウイルス感染症の影響により入館者数が大幅に減少し、企画事業も多くが中止となった。現在入館の際は入口での消毒、非接触式検温、人数制限などを行っているが、今後もそれらの感染防止対策を行いながら、感染状況を勘案した上で企画事業を実施していく。また、文化のみちの拠点施設として、周辺施設とのさらなる連携が課題であるため、イベントや広報を他施設と連携して実施するなど、さらに連携を進めていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等		

令和2年度は企画事業を39件実施。
(令和元年度企画事業数74件)



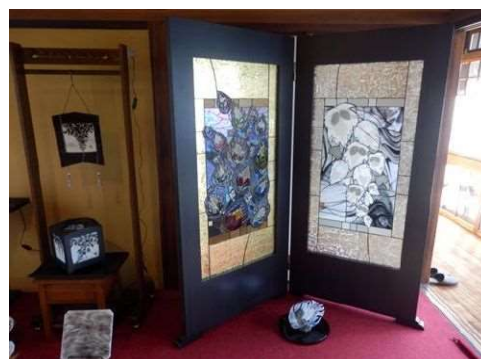
パネル紹介
文化のみち全体の紹介パネルにて、エリア内の歴史的建造物などについて紹介



企画展「姫きもの展」
令和2年9月16日～22日
期間中入館者 661名



企画展「浮世絵きると展」
令和2年10月14日～18日
期間中入館者 594名



企画展「ステンド硝子アート&ステンドグラス作品展」
令和2年11月14日～23日
期間中入館者 1,225名

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況																				
文化のみち榑木館の管理運営			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																				
事業期間	平成21年度～																						
支援事業名	市単独事業																						
計画に記載 している内容	歴史的建造物である文化のみち榑木館の保存・活用を進める。																						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																							
歴史的建造物である文化のみち榑木館を平成21年7月17日から一般公開している。 文化のみちの歴史などに関する展示や、企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。 年3回、施設の無料開放日を設け、施設の利用向上を図っている。 文化のみちにある施設と連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に寄与している。																							
【定量的評価】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>無料開放日</th> <th>2月8日</th> <th>7月17日</th> <th>名古屋まつり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度 入館者数</td> <td>5,197人</td> <td>貸室稼働率26%</td> <td>利用者満足度</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 入館者数</td> <td>14,270人</td> <td>貸室稼働率49%</td> <td>利用者満足度</td> <td>97%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度 入館者数</td> <td>16,995人</td> <td>貸室稼働率31%</td> <td>利用者満足度</td> <td>97%</td> </tr> </tbody> </table> ※令和2年度は名古屋まつり中止。令和2年12月21日～令和3年3月15日、工事休館。					無料開放日	2月8日	7月17日	名古屋まつり	令和2年度 入館者数	5,197人	貸室稼働率26%	利用者満足度	—	令和元年度 入館者数	14,270人	貸室稼働率49%	利用者満足度	97%	平成30年度 入館者数	16,995人	貸室稼働率31%	利用者満足度	97%
	無料開放日	2月8日	7月17日	名古屋まつり																			
令和2年度 入館者数	5,197人	貸室稼働率26%	利用者満足度	—																			
令和元年度 入館者数	14,270人	貸室稼働率49%	利用者満足度	97%																			
平成30年度 入館者数	16,995人	貸室稼働率31%	利用者満足度	97%																			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス感染症の影響により入館者数が大幅に減少し、企画事業も多くが中止となった。現在入館の際は入口での消毒、非接触式検温、人数制限などを行っているが、今後もそれらの感染防止対策を行いながら、感染状況を勘案した上で企画事業を実施していく。また、文化活動の促進により市民文化の振興に寄与する施設として、周辺施設及び地域団体等とのさらなる連携が課題であるため、イベントや広報を他施設及び地域団体等と連携して実施するなど、さらに連携を進めていく必要がある。																					
状況を示す写真や資料等																							
令和2年度は企画事業を10件実施。 (令和元年度企画事業数27件)																							
 常設展示 2F		 企画事業「和紙でつくるスイーツ展」 令和2年9月18日～10月11日 期間中入館者 1,356名																					
 企画事業「伊勢型紙×春夏秋冬展」 令和2年10月15日～10月27日 期間中入館者 715名		 企画事業「秋の蓄音機コンサート」 令和2年11月23日 当日入館者 68名																					

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
名古屋市役所本庁舎及び愛知県本庁舎の歴史的価値の維持向上		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～令和5年度

支援事業名 市単独事業(名古屋市庁舎分)、県単独事業(愛知県庁舎分)

計画に記載している内容 名古屋市役所本庁舎と愛知県庁舎(ともに重要文化財)の並立する景観と両者の歴史的価値の維持向上を図るとともに、庁舎の公開等を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名古屋市役所本庁舎(平成26年12月10日重要文化財指定)の歴史や魅力を広く市民に伝えていくため、小中学校の社会見学などの団体向け庁舎見学の受け入れを行った。また、閉庁日のガイドツアーを冬に実施し、計31名が参加した。※例年行っている庁舎開放イベント(11月3日)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。また、愛知県は、重要文化財である愛知県本庁舎の歴史的建造物としての魅力をより多くの県民に周知する事を目的とした見所紹介パネル展を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで、継続実施。ガイドツアーの実施については、実績に応じて、開催日及び募集人数を検討。

状況を示す写真や資料等

名古屋市庁舎

●庁舎開放イベント実施結果

開催日 : 中止

(参考)過去3年間の入場者数

平成29年度	3,800人
平成30年度	3,100人
令和元年度	3,200人

●庁舎見学の受け入れ実績

令和2年度	11団体(70名)
-------	-----------

(参考)過去3年間の受け入れ実績

平成29年度	38団体(496名)
平成30年度	34団体(606名)
令和元年度	13団体(263名)

●令和2年度ガイドツアー実施結果

開催日 : 令和3年1月11日(月・祝)

開催時間: ①午前10時～

②午後1時～

参加者総数: 31名

※応募総数220通

愛知県庁舎

●見所紹介パネルの展示

展示期間 : 令和3年3月22日～26日

展示場所 : 愛知県本庁1階休憩コーナー

展示内容 : 見どころを紹介する10枚のパネルを展示



評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	日本初の集約電波塔であり、本市の戦災復興を象徴する登録有形文化財でもある名古屋テレビ塔について、都心の重要な観光施設として活用していくための方策を検討していく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
栄地区のシンボルである名古屋テレビ塔(登録有形文化財)の魅力を発信するため、夜景とプロジェクションマッピングをコラボレーションさせたイベントを季節ごとに内容を変えて実施していたが、耐震性及び内部の機能向上のため、平成31年1月から休館し改修工事を実施。令和2年9月にリニューアルオープンし、新たにホテルやレストラン、カフェなど9施設がテレビ塔内にオープンしたほか、塔体に共架している市所有の照明設備をフルカラーLED化したことで、夜の重要な観光資源であるテレビ塔のさらなる魅力創出を図ることができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	展望台等を観光客の利用に供するとともに、おもてなしサービスの強化により、集客の向上を図る。	
状況を示す写真や資料等		
・平成31年1月 名古屋テレビ塔の改修工事・着工 久屋大通公園(北エリア・テレビ塔エリア) 整備工事・着工 ・令和 2年9月 名古屋テレビ塔・久屋大通公園 (北エリア・テレビ塔エリア)開業		
		
【令和2年9月に開業した久屋大通公園北エリア写真】		【テレビ塔エリア写真】
【栄地区まちづくりプロジェクトとは】 リニア中央新幹線の開業に向け、名駅地区と栄地区が個性を生かした魅力向上を図るため、栄地区を魅力あるまちへと再生し、持続的に発展させることを目的とした基本方針「栄地区グランドビジョン—さかえ魅力向上方針—」に基づく取り組み ○栄地区グランドビジョンにおける方針 方針1 公共空間の再生 「にぎわいと魅力にあふれた世界に誇れるシンボル空間の形成」		

評価軸③-09

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榑木地区)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和60年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白壁・主税・榑木地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、この地区の特徴である門塀や緑と調和するサイン、案内板、解説板等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的な建造物は修理基準に、伝統的建造物以外の建造物は修景基準にそれぞれ基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。令和2年度は1件の助成を行い、歴史的景観の維持・継承を図ることで、歴史的風致の維持向上に寄与している。
あわせて、保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行った。指導・助言件数は5件。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

保存地区内の町並みの維持・保全のため、今後も経済的・技術的支援を実施する。

状況を示す写真や資料等

◆白壁・主税・榑木町並み保存地区

江戸時代の武家屋敷の地割を残しており、門・塀と緑樹からなる屋敷景観と戦前の優れた近代建築が残る。

①【補助件数】

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	累計(昭和60年～)
伝統的建造物の修理	1	2	1	40
伝統的建造物以外の建造物の修景	0	0	0	13
必要物件の整備	0	0	0	1
計	1	2	1	54

②【指導・助言件数(届出件数)】

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
伝統的建造物の修理	1	3	1
伝統的建造物以外の建造物の修景	0	1	0
必要物件の整備	0	0	0
その他の建築行為	4	4	5
計	5	8	6

①令和2年度 町並み保存補助事業
か茂免土蔵修理工事

修理前



修理後

令和元年度に道路からの視線を阻害していた職員寮が除却され、鳥屋筋から望見できるようになったため伝統的建造物に追加指定された土蔵。職員寮に面した部分の漆喰が傷んでいたため修復するとともに、傷んでいたケラバ瓦についても交換を行った。

②令和2年度 町並み保存地区内現状変更行為届出

5件中4件が建築物の新築である。そういった場合、届出前の事前相談の際にパンフレットを手交し、塀越しの樹叢が連続する町並の特性について説明し、協力を求めている。

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
歴史的町並み保存事業(四間道地区)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和61年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 四間道地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、地区の歴史的環境に配慮した道路環境整備を実施するとともに、サイン、案内板、解説板等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的な建造物は修理基準に、伝統的建造物以外の建造物は修景基準にそれぞれ基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。令和2年度は4件の助成を行い、歴史的景観の維持・継承を図ることで、歴史的風致の維持向上に寄与している。

あわせて、保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行った。指導・助言件数は5件。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	保存地区内の町並みの維持・保全のため、今後も経済的・技術的支援を実施する。

状況を示す写真や資料等

◆四間道町並み保存地区

慶長15年に始まった清州越しにとまってつくられた商人町で、土蔵群と町家が堀川の水運を利用して隆盛を誇った清州越し商人の栄華を今に伝える。

【補助件数】

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	累計(昭和60年～)
伝統的建造物の修理	2	1	0	63
伝統的建造物以外の建造物の修景	2	0	2	17
必要物件の整備	0	0	0	6
計	4	1	2	86

○令和2年度の町並み保存補助事業

※店舗修景



修景前



修景後

町並み保存地区内の部分について土蔵風に修景するとともに、一体として利用する町並み保存区域外の部分についても、周囲の町並みと調和するように改修された。

【指導・助言件数(届出件数)】

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
伝統的建造物の修理	1	1	0
伝統的建造物以外の建造物の修景	2	0	2
必要物件の整備	0	0	0
その他の建築行為	2	0	0
計	5	1	2

※その他の建築行為は住宅等の新築で、既存建物の裏側など、町並みへの影響の少ない場所であった。

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目			現在の状況
徳川園の管理運営			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史文化拠点として、尾張藩二代藩主光友の隠居地を起源とする徳川園(庭園)を良好に管理運営し、近世武家文化を国内外に発信していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
各年度を通して、季節の風情を感じる催事や徳川家を中心とした歴史にまつわる催事を企画し、企画によっては隣接する蓬左文庫、徳川美術館と連携してバランスのとれた行事の実施に取り組んできた。 令和2年度は新型コロナ感染防止のために「山車揃え」「邦楽演奏会」など多くの催事が中止となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない		今後も新型コロナの感染状況を勘案しつつ、引き続き、改札口での消毒、非接触式検温、入場抑制などを行い、来園者に城下の歴史文化を楽しみながら感じてもらえる企画を実施していく。	
状況を示す写真や資料等			

令和2年度は多くのイベントが中止となった。令和2年度の入園者数は147,740人(前年比で44.7%)
 【入園者数】平成30年度:337,986人 令和元年度:330,850人

武家装束展



徳川園ガーデンホールにて甲冑、武士装束、大名道具の展示。
 本物の甲冑の試着会実施。前年実施した甲冑の試着は新型コロナ感染防止のため実施せず。
 期間中(10/1～4)の入園者数は3,173人。

流し雛



流し雛は現在の雛飾りの原型とされ、源氏物語にもその記述が残っている。徳川美術館の雛飾りの時期と合わせ園内龍仙湖に再現した。150組の親子が参加。
 当日(2/28)の入園者数は1,388人と年始以来では最高の人出。

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
蓬左文庫の保存と公開活用			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	尾張徳川家に伝来した貴重な書籍や絵図類が収蔵・展示されている蓬左文庫の保存と公開活用を積極的に進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
古典籍文庫としての閲覧公開活動を重視しつつ、徳川美術館と連携し尾張徳川家の大名文化を分かりやすく紹介する展示を開催した。また、蔵書の調査研究の成果をもとに講演会・講座を開催した。日頃の調査研究としては、展覧会図録を作成し、また、広報誌「蓬左」で、蔵書等を市民にわかりやすく紹介した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、入館時の消毒、混雑時の人数制限、閲覧室の利用予約制などを行いながら運営している。今後もそれらの感染防止対策を行いながら、同じ敷地内にある徳川美術館・徳川園と連携し、展示や講演会・講座を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			
1 閲覧室 閲覧室利用者数 981人(令和元年度:1,568人、平成30年度:1,910人) 閲覧件数 862件(市内 459件 県内 258件 県外 145件) 閲覧冊数 7,828冊 参考質問 205件 2 展覧会 (1)特別展 秋季特別展「殿さまが好んだヨーロッパ異国へのまなざし」 令和2年 9月20日(日)～ 11月3日(火・祝) 観覧者数 11,672人(1日平均308人) (2)企画展 ①「祈りのこころー尾張徳川家の仏教美術ー」 令和2年6月6日(土)～7月12日(日) 観覧者数 4,654人(1日平均146人) ②「怪々奇々ー鬼・妖怪・化け物・・・」 令和2年7月18日(土)～9月13日(日) 観覧者数 12,366人(1日平均248人) ③「読み継がれた源氏物語」 令和2年11月8日(日)～12月13日(日) 観覧者数 12,012人(1日平均388人) ④「竹ー日本の美」 令和3年1月5日(火)～1月31日(日) 観覧者数 3,185人(1日平均133人) ⑤「尾張の百科事典ー御秘本『張州雑志』ー」 令和3年2月6日(土)～3月31日(水) 観覧者数 16,031人(1日平均349人) 3 講演会・講座 ①講演会「元禄御量奉行が歩いた名古屋」 令和2年10月29日(木) 参加者 62人 ②講演会「名古屋城下町の町名のうつりかわり」 令和2年11月26日(木) 参加者 60人 ③講座「張州雑志とは何ぞや」 令和3年2月13日(土) 参加者60人 ④講演会「記録画に挑んだ東甫」 令和3年 2月28日(日) 参加者60人 4 調査研究 ①企画展の理解が深まるように、展覧会図録を作成した。 ②蓬左文庫の蔵書等を紹介した広報誌「蓬左」を作成配布した。		 企画展「尾張の百科事典ー御秘本『張州雑志』」出陳作品 『張州雑志』巻72 津島天王祭図  企画展「尾張の百科事典ー御秘本『張州雑志』」記念図録  広報誌「蓬左」No.100	

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
堀川の総合整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	防災・安全交付金(流域治水対策河川事業)		
計画に記載している内容	堀川では堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備を進めているが、堀川とその周辺の歴史・文化資源、まちづくり、市民団体の活動など、堀川をとりまく様々な資産を活かし、周辺のまちづくりを考慮した河川整備に引き続き取り組んでいく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備として、護岸整備および河道掘削を実施することにより、沿川の歴史的資産やまちづくりの基盤となる堀川の周辺環境を洪水被害から守る。 令和2年度 護岸整備延長 約0.6km 令和2年度 河道掘削量 約17千m3			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		河川整備工事には時間を要するが着実な事業進捗を図っていく。 また、水辺空間を利活用することでにぎわいづくりを進める。	

状況を示す写真や資料等

【整備例】 五条橋上流の護岸工事

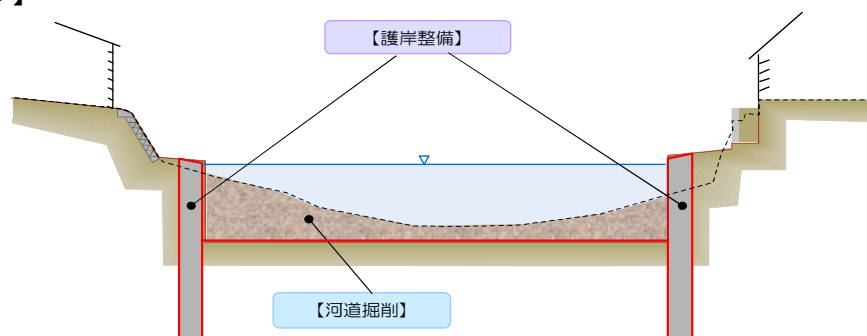


工 事 前



工 事 後

【整備イメージ】



【参 考】 納屋橋地区のライトアップ整備(令和3年3月26日～)



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況																												
尾張名所図会看板の整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																												
事業期間	平成24年度～																														
支援事業名	市単独事業																														
計画に記載している内容	市民の歴史に関する関心を高めるとともに、地域の歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した「尾張名所図会」を、その描かれた場所付近に看板として設置する。																														
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																															
尾張名所図会の看板を描かれた場所付近に設置した。 【設置基数】24年度…2基、25年度…0基、26年度…2基、27年度…2基、28年度…0基、29年度…1基、30年度…3基 元年度…0基、2年度…0基 計:10基																															
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																													
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		令和元年度以降予算措置がなく、新規設置ができていないため、今後の設置について検討する必要がある。設置済みの看板については適切な維持補修に努める。																													
状況を示す写真や資料等																															
○設置状況																															
熱田界隈		城下町界隈																													
【正覚寺 H27設置】		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>基数</th> <th>尾張名所図会内容</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>2</td> <td>断夫山 夜寒里古覧</td> <td>熱田神宮公園 旗屋小学校</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2</td> <td>白鳥山法持寺 法華堂本遠寺</td> <td>法持寺 本遠寺</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2</td> <td>妙光山誓願尼寺 龜足山正覚寺</td> <td>誓願寺 正覚寺</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1</td> <td>亀井山円福寺</td> <td>円福寺</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>西本願寺 掛所 長嶋山崇覚寺 東本願寺 掛所</td> <td>西本願寺 崇覚寺 東本願寺</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	基数	尾張名所図会内容	設置場所	H24	2	断夫山 夜寒里古覧	熱田神宮公園 旗屋小学校	H26	2	白鳥山法持寺 法華堂本遠寺	法持寺 本遠寺	H27	2	妙光山誓願尼寺 龜足山正覚寺	誓願寺 正覚寺	H29	1	亀井山円福寺	円福寺	H30	3	西本願寺 掛所 長嶋山崇覚寺 東本願寺 掛所	西本願寺 崇覚寺 東本願寺	合計	10		
年度	基数	尾張名所図会内容	設置場所																												
H24	2	断夫山 夜寒里古覧	熱田神宮公園 旗屋小学校																												
H26	2	白鳥山法持寺 法華堂本遠寺	法持寺 本遠寺																												
H27	2	妙光山誓願尼寺 龜足山正覚寺	誓願寺 正覚寺																												
H29	1	亀井山円福寺	円福寺																												
H30	3	西本願寺 掛所 長嶋山崇覚寺 東本願寺 掛所	西本願寺 崇覚寺 東本願寺																												
合計	10																														

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
中川運河の再生			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～（堀止緑地の整備は令和4年度までを予定）		
支援事業名	港湾整備事業（中川運河護岸・堀止緑地）		
計画に記載している内容	名古屋の暮らしとモノづくりの発展を下支えしてきた中川運河において、堀止緑地の整備や護岸改良、松重閘門の再生などに取り組む。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
① 堀止緑地の整備 緑地の整備によって緑豊かな空間の創出が図られます。 ・令和元年度 緑地整備（既設構造物撤去、整地等） ・令和2年度 緑地整備（通路舗装112m、転落防止柵110m、階段スロープ） ② 護岸改良 老朽化した護岸の改良によって安全性の確保が図られます。 ・令和元年度 護岸改良工事（防食工90m） ・令和2年度 土質調査・設計			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		護岸改良には多額の費用が必要のため時間を要するが、着実な事業進捗を図っていく	
状況を示す写真や資料等			
①堀止緑地 令和2年度整備の部分 		③護岸改良 	
②堀止緑地 一部供用済の部分 		 ＜沿岸用地の将来の土地利用＞ - にぎわい系 - にぎわい・産業系 - 産業系 - 緑地系 - プロムナード ＜背後地の現在の土地利用＞ - にぎわい系 - 産業系 - 住居系 - 緑地系	

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	国庫補助事業(社会資本整備総合交付金事業(都市公園事業)、官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業)及び市単独事業		
計画に記載している内容	大胆な戦災復興計画により形成された久屋大通公園において、都心のシンボル空間にふさわしい公共空間の整備や、沿道との一体化を図る空間形成等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
久屋大通の再生にあたり、北エリア・テレビ塔エリアでは、改正都市公園法により創設されたPark-PFI制度を活用した久屋大通公園(北エリア・テレビ塔エリア)整備運営事業を進めており、令和2年度は、整備運営事業者による工事が完了し、「Hisaya-odori Park」として開業した。また、南エリアでは、令和2年3月に久屋大通再生有識者懇談会より受領した「久屋大通のあり方(南エリア部分)」をふまえ、事業化に向けた考え方のベースとなる再整備プランの検討を進めた。			
c		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		南エリアについて、市民の意見を聴取しながら、再整備プランの検討を進め、策定する。	
状況を示す写真や資料等			

- 令和2年9月18日 「Hisaya-odori Park」の開業
- 令和3年3月29日 第11回久屋大通再生有識者懇談会の開催

■久屋大通公園(北エリア・テレビ塔エリア)整備運営事業



項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和39年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡名勝標札、史跡散策路案内板などの設置事業を行うとともに、こうした歴史関係の案内板を活用し、より身近な歴史に親しむ環境を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡や名勝などの所在地にその由緒などを案内する標札として「史跡名勝標札」を市内に309基(工事などで一時撤去中の標札を含む)設置している。令和2年度は、標札の新設や説明文の修正や補修、木製の標札を新しくした。

また、各史跡等を連絡させた散策路コースを設定し、市内80コース(1区あたり3～6コース)の各起点にイラストでコース全体や史跡を紹介した「史跡散策路」案内板を、コース途中には誘導標識を設置し、文化財保護意識の普及啓発やウォーキングイベント等での活用を図ったほか、案内板については補修等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	史跡名勝標札の新設のほか、設置後10年以上経過し、文字や塗装等の劣化が見られる史跡名勝標札や案内板の補修も、計画的に進めている。

状況を示す写真や資料等

【案内板新設等件数】

種別	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新設	3	3	2
再設置	1	2	1
補修・訂正	11	15	9
作り直し	1	8	0
完全撤去	1	0	0
設置累計	307	307	304

史跡名勝標札の新設(中村区城屋敷町)



【施工前】

「史跡名勝標札」の補修



木製からアルミ製に作り直す



【施工後】

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
歴史的建造物の登録・認定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋市都市景観条例に基づき、市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定するとともに、その保存活用に向けた技術的支援、経済的支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定し、登録資産は計209件、認定資産は計83件(ともに累計)となった。
登録・認定件数は順調に増えており、身近な歴史的建造物を大切にするという意識も生まれ、歴史的風致の維持向上に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

名古屋市総合計画2018の目標である「平成30年度に登録・認定累計250件」は達成したが、今後も、市民、なごや歴まちびと、関係機関等と連携し、身近な歴史的建造物の情報収集体制を強化していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■登録及び認定件数

年度	登録	認定	合計
H23	50	35	85
H24	43	16	59
H25	37	6	43
H26	8	4	12
H27	9	0	9
H28	14	0	14
H29	14	7	21
H30	20	1	21
R1	6	10	16
R2	8	4	12
合計	209	83	292
(うち登録→認定)	(37)		(37)
(うち抹消)	(13)	(2)	(15)

■技術的支援の実績件数

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
H27	6
H28	9
H29	12
H30	4
R1	2
R2	9
合計	68

■経済的支援の実績件数

年度	件数
H23	2
H24	1
H25	4
H26	3
H27	1
H28	2
H29	0
H30	1
R1	3
R2	2
合計	19

令和2年度の経済的支援は、個人住宅の外観保存工事2件に対して助成を行った。

■登録・認定地域建造物資産(令和2年度登録・認定物件(一部))



登録 第209号 秋葉神社
(中村区日比津町)



認定 第81号 旧鳴海町役場
(緑区鳴海町)



認定 第82号 うなぎ西本 奥座敷
(東区山口町)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
なごや歴まちびとの派遣		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域建造物資産に登録・認定された歴史的建造物の所有者からの申請に基づき、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)が保存・活用に関する技術的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録地域建造物資産等の歴史的建造物の所有者に対して、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)の派遣を行い、所有者の相談に応えることで歴史的建造物の保存に繋がっており、歴史的風致の維持向上に寄与している。

【なごや歴まちびと登録人数】令和2年度現在:62人 【派遣件数】令和2年度:9件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	歴史的建造物所有者からの様々な相談への対応を一層強化するため、なごや歴まちびとの技術向上を検討している。

状況を示す写真や資料等

■派遣制度の仕組み

なごや歴まちびと派遣制度



■派遣実績

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
H27	6
H28	7
H29	12
H30	4
R1	2
R2	9
合計	66

■過去の主な相談内容

- ・屋根、土蔵、母屋、門、塀の補修方法について
- ・活用に向けた修理計画について
- ・耐震診断について
- ・活用検討のための調査、間取り図作成について

など

■建物調査・相談の様子(技術的支援)



令和2年11月2日
店舗・住宅 平惣商店
耐震工事と店舗の活用について相談



令和2年12月18日
個人住宅 加藤家
設備改修について相談

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化のみちの推進			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成11年度～		
支援事業名	市単独事業※シールラリーは地域文化財総合活用推進事業		
計画に記載している内容	名古屋城から徳川園に至る「文化のみち」エリアにおいて、拠点施設の管理運営、歴史的建造物の保存・活用を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの各種イベントを開催する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
文化のみち施設(文化のみち二葉館・文化のみち榑木館・旧豊田佐助邸・旧春田鉄次郎邸)の活用・管理を行うとともに、「文化のみち鑑巡りシールラリー」などの歴史的建造物を活用したイベントを開催した。※例年行っている「歩こう！文化のみち」イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 文化のみちにある施設が連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に繋がり歴史的風致の維持向上に寄与している。			
【連携事業参加者数】	令和2年度	令和元年度	平成30年度
「歩こう！文化のみち」イベント	—	22,091人	18,993人
「鑑巡りスタンプ(シール)ラリー」	2,356人	4,942人	10,704人
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染防止対策として、スタンプラリーをシールラリーに変更して実施した。今後も感染状況を勘案しながら開催可能なイベントを検討し、文化のみち施設による個々の企画や発信だけでなく、連携した取組みを推進していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



文化のみち二葉館



文化のみち榑木館



旧豊田佐助邸



旧春田鉄次郎邸



文化のみちエリア

【実施イベント】



連携事業
「文化のみち鑑巡りシールラリー」
令和3年2月6日～3月7日
参加者：延べ人2,356人



項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和47年度～		
支援事業名	市単独事業 ※国・愛知県指定文化財は、文化財保存事業費関係国庫補助・愛知県文化財保存事業費		
計画に記載している内容	指定文化財であるお寺、神社、個人住宅などの歴史的建造物や史跡・名勝といった地域の歴史遺産の保存修理や管理に要する経費について、補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
名古屋市指定文化財等の保存管理・保存継承のために補助金を交付することで、地域の貴重な文化財の保存が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与している。 (令和2年度市指定文化財等の保存修理事業として5件補助を実施) (平成30年度実績:9件 令和元年度実績:7件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市の補助金だけでは十分な対応が難しいことから、国の補助事業も有効に活用していく。		

状況を示す写真や資料等

○令和2年度補助金交付一覧

名称	種別	行為
深沢第3号墳	史跡	一部除草
宝珠院のイヌナシ	記念物	剪定等
建中寺 源正公廟	建造物	保存修理
笠覆寺 本堂	建造物	保存修理
絹本著色松平忠吉像	美術品	調査

○建中寺源正公廟(東区)保存修理

<修理前>



<修理後>



土台の腐朽部分を交換するとともに、敷石のがたつきを修復した。
また、壁面が白漆喰であったことが判明したため、復元した。

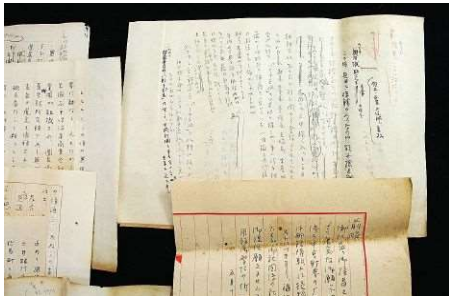
評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	地域で活動する多様な主体(住民、自治会、NPO、商店街、企業、行政等)が集まり、まちの将来像を話し合うまちづくり協議会等を設置し、その実現に向けた方針をまとめたまちづくり構想を作成したり、地域の魅力向上や課題対応などの取り組みを主体的にすすめていく「地域まちづくり」を支援していく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
以下の支援を行い、まちづくり構想づくりとその実践を推進している。 平成30年度サポート制度活用団体 9団体 令和元年度サポート制度活用団体 6団体 令和2年度サポート制度活用団体 7団体		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地域まちづくりに取組むまちづくり団体が増加傾向にあり、今後も支援を実施していく。 【地域まちづくり活動団体登録:平成29年度 19団体、平成30年度 24団体、令和元年度 27団体、令和2年度 28団体】(平成29年度から登録認定制度運用開始)	
状況を示す写真や資料等		
 ≪宮の渡し・大瀬子地区まちづくり協議会≫ まちづくり構想を作成するため地域の方たちが集まって意見聴取会を実施 (写真は令和2年7月16日)		
 ≪名駅東花車・船入地区まちづくりの会≫ 地域の方のまちづくりへの理解を深めるための勉強会を実施 (写真は令和2年12月18日)		

評価対象年度		令和2年度																
項目		現在の状況																
名古屋城本丸御殿障壁画復元模写		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																
事業期間	平成4年度～																	
支援事業名	市単独事業																	
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画等を参考に、400年前の鮮やかな色を蘇らせるべく、描かれた当時の状態を再現する「復元模写」を制作し、本丸御殿復元時に御殿内に取り付けて展示する。																	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 平成25年度は、上洛殿上段之間の床壁貼付絵や襖絵、天井板絵など33面を制作した。 平成26年度は、上洛殿西入側の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など38面を制作した。 平成27年度は、上洛殿三之間の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など43面を制作した。 平成28年度は、鷺之廊下の壁貼付絵、上洛殿上段之間の天井板絵など44面を制作した。 平成29年度は、上洛殿松之間の襖絵や上洛殿三之間の天井板絵など48面を制作した。 平成30年度は、上洛殿松之間の壁貼付絵や上洛殿一之間の天井板絵など35面を制作した。 令和元年度は、上御膳所御上段の壁貼付絵や上洛殿一之間の天井板絵など52面を制作した。 令和2年度は、湯殿書院上段之間の襖絵や上洛殿一之間の天井板絵など42面を制作した。 制作した障壁画を本丸御殿に展示し、名古屋城の歴史的魅力的の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与している。																		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	史実に忠実な障壁画復元模写の制作のため、重要文化財障壁画の熟覧等を行いながら事業を進める。																	
状況を示す写真や資料等																		
【令和2年度 制作画面(一部)】																		
 玄関・大廊下西側杉戸絵  上洛殿一之間天井板絵																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>制作実績</th> <th>襖絵等</th> <th>天井</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H4～R元</td> <td>437</td> <td>316</td> <td>753</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>456</td> <td>339</td> <td>795</td> </tr> </tbody> </table>  作業風景			制作実績	襖絵等	天井	合計	H4～R元	437	316	753	R2	19	23	42	合計	456	339	795
制作実績	襖絵等	天井	合計															
H4～R元	437	316	753															
R2	19	23	42															
合計	456	339	795															
令和2年度末 進捗率 60% (1,325面中795面完了)																		

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
名古屋城本丸御殿障壁画保存修理			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間 昭和61年度～			
支援事業名 文化資源活用事業費補助金			
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画について、絵の具の剥落、虫害、下地の傷みなど損傷を生じているものを順次修理し、保存・継承を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度は、上洛殿の天井板絵30面の保存修理を行った。 平成26年度は、上洛殿の天井板絵29面の保存修理を行った。 平成27年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、表書院等の襖絵16面の点検修理を行った。 平成28年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、上洛殿の襖絵8面、玄関等の杉戸絵8面の点検修理を行った。 平成29年度は、上洛殿の天井板絵26面の保存修理、玄関の障子腰貼付絵など18面の点検修理を行った。 平成30年度は、上洛殿の天井板絵25面の保存修理、上洛殿や表書院の襖絵など16面の点検修理を行った。 令和元年度は、上洛殿の天井板絵29面の保存修理、黒木書院や玄関の襖絵15面の点検修理を行った。 令和2年度は、上洛殿の天井板絵26面の保存修理、対面所の襖絵12面の点検修理を行った。 重要文化財である名古屋城本丸御殿障壁画の保存修理を行うことで、貴重な文化財の保存・継承することにより、名古屋城の歴史的魅力的の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後の展示・貸し出しの予定を勘案し、計画的に修理を行う。		
状況を示す写真や資料等			
【令和2年度 修理画面(一部)】			
			
上洛殿入側天井板絵(修理前)		上洛殿入側天井板絵(修理後)	
			
対面所次之間襖絵 風俗図(点検・修理前)		対面所次之間襖絵 風俗図(点検・修理後)	

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
郷土ゆかりの文学資料室			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	郷土ゆかりの文学資料が時代とともに散逸することを防ぐため、文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)の一部を活用して、郷土ゆかりの文学資料の保管・展示を行うことにより、市民文化の振興に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○市民や文学関係者が保有する文学資料について、その保存状態や歴史的価値を調査した。 〈令和元年度〉永楽屋東四郎関係資料(5点)、稲垣喜代志氏関係資料(45点)、名古屋豆本(62点)、岡田・藤森夫婦資料(78点)蔵書(77点) 〈令和2年度〉城山三郎氏寄贈資料(484点)、短歌会館収蔵品・青木禮子氏寄贈品資料(1,995点) ○収蔵資料や折々のテーマに基づいた企画展及び関連催事の開催し、市民等の歴史的風致に対する認識の向上に寄与した。 〈令和元年度〉春日井建展、児童文学リバイバル展、名古屋・モダニズム詩展、郷土ゆかりの文学資料収蔵品展 〈令和2年度〉江戸川乱歩 没55年展、なごや女性歌人展、金子光晴展 ※感染症対策のため春季休館につき年3回実施となった			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		文学資料の調査・保存について今後も継続実施するとともに、さらに多くの方々に施設に訪れていただき、興味を持っていただけるよう、今後もインターネットを活用するなどより効果的な周知方法を検討していく。	
状況を示す写真や資料等			
○文学資料(寄贈品)の調査・保存 〈令和元年度〉 ・永楽屋東四郎関係資料…5点 ・稲垣喜代志氏関係資料…45点 ・名古屋豆本(欠号分の通巻の前半出版のもの)…65点 ・岡田・藤森夫妻の資料…155点 〈令和2年度〉 ・城山三郎氏新規収蔵品資料…直筆原稿・書簡、貴重本ははじめ484点 ・短歌会館収蔵品・寄贈品資料…青木氏日記・書籍、貴重本ははじめ1,995点			
			
		寄贈・調査対象資料	
○文学関係企画展 〈令和元年度〉 ・「没後15年春日井建展」 5月21日～6月30日期間中入場者3,270人 ・「児童文学リバイバル展 名古屋・愛知の昔話」 8月1日～8月31日期間中入場者1,515人 ・「名古屋・モダニズム詩展」 10月10日～11月10日期間中入場者5,022人 ・「開館15周年郷土ゆかりの文学資料収蔵品展」 2月5日～3月29日 〈令和2年度〉 ※感染症対策休館のため春季企画展中止 ・リバイバル展「江戸川乱歩 没55年」 8月1日～8月31日 期間中入場者 921名 ・「なごや女性歌人」展 10月10日～11月10日 期間中入場者 2,593名 ・「流浪の詩人・金子光晴」展 2月3日～3月7日 期間中入場者 2,281名			
			
リバイバル展「江戸川乱歩 没55年」の様子		「流浪の詩人・金子光晴」展 展示資料	

		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
項目			
水上交通ネットワークの検討		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載 している内容	中川運河、堀川及び名古屋港を連絡し、熱田、名古屋城及びささしまライブ24などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現を目指す。熱田の宮の渡しと桑名の七里の渡しを結ぶ東海道唯一の海路である七里の渡しの復活に向けて、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
中川運河水上交通定期運航・モニタリング調査を引き続き実施。アンケート調査(回答者数1,284、回収率27.9%)では、満足度について9割以上「よかった」「まあよかった」と回答			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		PR強化や企画商品の造成などにより利用者数の底上げを図りながら、引き続き運航を継続実施する	
状況を示す写真や資料等			

【運航ルート】



項目		評価対象年度	令和2年度						
現在の状況									
「ものづくり文化の道」推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手							
事業期間	平成13年度～								
支援事業名	市単独事業								
計画に記載している内容	名古屋駅北東に位置する西区の南部地域を「ものづくり文化の道」とし、ものづくりを中心としたこの地域の魅力を産業観光、産業振興、商店街の活性化といった産業面のみならず、歴史的な価値を有する建造物や町並みの保存・活用を図りながら高め、その魅力を地域の内外に発信していく。								
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で									
●当該地域の「ものづくり文化」に触れてもらうために、体験や展示が楽しめる「ものづくり文化の館」を開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度はすべて開催中止とした。 (開催予定: 円頓寺七夕まつり会場(令和2年8月予定)、区民まつり会場(令和2年10月予定)、mozo会場(令和3年2月予定)) ●当該地域の魅力スポット群を「ナゴヤおもしろード」と命名し、Instagramなどで魅力発信事業を継続している。今年度は、人気声優を登用したプロモーションビデオの作成やまち歩きマップの作成を行った。どちらの事業も当該地域の店舗などにも協力をいただいた。		●当該地域の「ものづくり文化」に触れてもらうために、ガイドによるまち歩き・ものづくり体験を行う「親子で行こう『ものづくり文化の道』体験ツアー」を開催した。 アンケートでは、参加者全員が西区の魅力がわかったと答えるなど非常に好評であった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年11月15日(日) 午後1時～4時30分</td> <td>My扇子作製体験 伊藤家住宅など街並み散策</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>		日時	内容	参加者数	令和2年11月15日(日) 午後1時～4時30分	My扇子作製体験 伊藤家住宅など街並み散策	20人
日時	内容	参加者数							
令和2年11月15日(日) 午後1時～4時30分	My扇子作製体験 伊藤家住宅など街並み散策	20人							
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)							
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		感染症対策のため今年度はイベントの中止や規模縮小、延期が頻発した。来年度以降は魅力発信のために、イベント実施方法の検討やWEBコンテンツを活用した新たな魅力発信が求められる。							
状況を示す写真や資料等									
ものづくり文化の道体験ツアー(令和2年11月15日(日)開催)									
  									
Instagramでの魅力発信(ナゴヤおもしろードの投稿)									
  									
		令和2年9月8日(火)投稿	令和2年10月12日(月)投稿						
プロモーション映像撮影の様子		作成したマップ							
		 							
令和2年11月撮影		令和3年3月作成							

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	およそ400年前の清須越以来、名古屋の中心で脈々と伝えられてきた中区の魅力を市民グループと協働で発信し、中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和2年11月1日(日)第25回堀川文化歩こう会「門前町・橘町界隈の歴史と文化を探る」を開催。参加者25名 ・令和3年3月 中区歴史紙芝居動画を作成(8作品のうち昨年度4作品、今年度残り4作品を動画化)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も継続して、市民グループと協議しながら魅力を発信していく。		
状況を示す写真や資料等			
第25回堀川文化歩こう会「門前町・橘町界隈の歴史と文化を探る」(令和2年11月1日開催)   江戸時代には名古屋の南玄関とも言える位置にあり、現在も歴史ある建物が数多く残る門前町・橘町。第25回堀川文化歩こう会では、その界隈の歴史と文化をまち歩きで探った。新型コロナウイルス感染症対策のため、少人数ごとのグループに分かれての実施となった。			
中区歴史紙芝居動画 (令和3年3月作成)    動画サイトURL			
「橘町と橘座」 1000年以上前から日本人が桜と並んでおめでたい花として大事にしてきた花「橘」。 そんな橘を冠するまち「橘町」と橘町にあった芝居小屋「橘座」の歴史についての話。			

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
熱田区役所における歴史資料展示			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成22年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	熱田区役所1階に「熱田区歴史資料展示コーナー」を設け、故福島重夫氏等から寄贈された歴史資料を展示する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の影響から歴史資料室の活動が制限される中、年1回の展示替えを行った。歴史資料の分類整理について、展示替え作業と並行して保存、管理を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	課 題: 熱田区歴史資料展示コーナーの認知度を高めること 対応方針: 庁舎内の案内表示やホームページの充実
状況を示す写真や資料等	

第21回展示「熱田と街道」
令和元年10月1日～令和2年9月28日



展示の様子

アンケート回収 44名
 【展示内容について】
 よかった…………… 33名
 ふつう…………… 5名
 よくなかった…………… 3名
 未記入…………… 3名



資料: 東海道分間絵図など

第22回展示「絵葉書から見た熱田と名古屋」
令和2年9月30日～令和3年6月28日



展示の様子



資料: 熱田神宮海上門、信長塀
 熱田神宮御遷座記念絵葉書など

評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
名古屋まつり			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和30年度～		
支援事業名	市単独事業（名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所を構成員とする名古屋まつり協進会で実施）		
計画に記載している内容	昭和30年に戦災復興を祝して始まり、山車揃や郷土英傑行列など名古屋の歴史にちなむ催しも多い名古屋まつりを継続して開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 例年10月第3週に開催をしてきたが、準備段階を含め、非常に多くの方が参加する行事であるため、感染拡大のリスクを払拭できない状況にあると判断し、令和2年6月18日に中止を決定。 <参考> 【例年の主な事業】 ・郷土英傑行列を始めとした行列 ・久屋大通公園を中心とした会場行事 【例年の人出】 令和元年度 153万人(雨天のため、土曜日の行列を中止) 平成30年度 221万人 平成29年度 24.3万人(台風21号の接近のため土・日曜日の行列及び日曜日の会場行事を中止)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和2年度は準備段階を含め、新型コロナウイルス感染症対策の方法が未だ明確でなかったこともあり、感染拡大リスクを払拭できない状況と判断し中止とした。しかしながら、名古屋の伝統、文化、魅力に触れてもらうことを目的に名古屋まつりを実施するため、令和3年度以降の、感染症対策を徹底したうえでの開催に向けて検討を行った。	
状況を示す写真や資料等			
 郷土英傑行列 (令和元年10月20日)  山車揃 (令和元年10月20日)  久屋大通公園会場 (令和元年10月20日)  久屋大通公園会場 (令和元年10月20日)			

評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、 及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和47年度～		
支援事業名	市単独事業 ※文化遺産を活かした地域活性化事業・愛知県文化財保存事業費、文化財保存事業費国庫補助		
計画に記載している内容	指定文化財である山車祭り等、地域の民俗芸能・伝統行事の継承や山車などの保存修理等について補助するとともに、市内遺跡から出土した遺物を展示し、公開活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市内の無形文化財や民俗文化財の継承のために必要な用具の修理・新調および練習等に係る補助を行うことで、民俗芸能・伝統文化の継承や後継者の育成を行うことができた。 補助件数 令和2年度25件 令和元年度24件、平成30年度26件、平成29年度31件、平成28年度19件(市単独事業のみ) ・名古屋の歴史や文化の魅力を紹介する観光情報アプリ「なごや歴史探検」の機能強化を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		専門家による現地での現況確認・修繕方法の指導などを通じて、文化財の保存技術の向上を図っていく。	

状況を示す写真や資料等



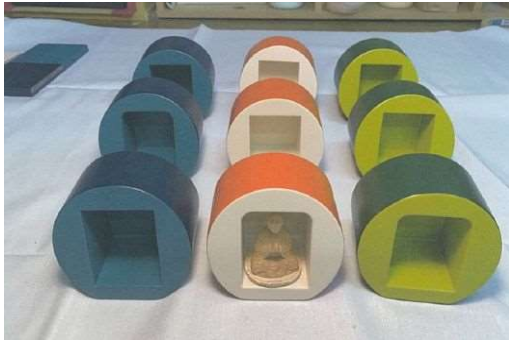
緑区有松東町布袋車の幕修理についての蛍光エックス線分析による修復素材選定作業(協力:京都国立博物館)



大高城を取り上げた講演会を開催した。令和3年3月7日

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
伝統産業若手育成事業助成			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成5年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業に従事する人材の定着の促進を図るため、その若手技術者を育成する市内企業に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業若手技術者育成事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に所属する市内企業に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・平成30年度補助金交付件数:7件 ・令和元年度補助金交付件数:7件 ・令和2年度補助金交付件数:8件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も伝統産業を担う人材の支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		
状況を示す写真や資料等			
【名古屋の伝統産業】 ・有松・鳴海絞 ・名古屋節句人形 ・木桶 ・七宝 ・名古屋桐箆箭 ・名古屋扇子 ・名古屋提灯 ・名古屋仏壇 ・名古屋友禅 ・名古屋黒紋付染 ・和蠟燭 ・尾張仏具			
【補助金交付団体の活動例】  【名古屋友禅】 享保年間に京都から伝わる。「手描友禅」と「型友禅」の二つの技法があり、単彩濃淡調の渋い色使いが特徴。 (補助金交付団体名) 名古屋友禅黒紋付協同組合連合会  【七宝】 天保年間に尾張海東郡の梶常吉により技法が確立。ガラスのきらめく様子や折り重なる色彩の深みが特徴。 (補助金交付団体名) 名古屋七宝協同組合			

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
伝統産業新商品開発事業助成			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成5年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業製品の新たな需要開拓を図るため、市内伝統産業の業界団体が行う現代感覚にあった新商品開発事業に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業新商品開発事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・平成30年度補助金交付件数:2件 ・令和元年度補助金交付件数:3件 ・令和2年度補助金交付件数:3件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も現代ニーズに合った商品開発の支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		
状況を示す写真や資料等			



◀ 【尾張仏具】

江戸期より名古屋城下において、下級武士の内職として興る。木製漆塗り製品を中心とし、仏具以外にも神具、祭礼具などの製造も行う。

- ・補助金交付団体名 尾張仏具技術保存会
- ・新商品名 「個人向け祈りの仏」



▲ 【名古屋仏壇】

江戸時代中期、元禄年間より製造が始まったとされる。名古屋仏壇は台の部分が高く、宮殿御坊造を代表とした豪華な構造が特徴。

- ・補助金交付団体名 名古屋仏壇商工協同組合
- ・新商品名 「伝統的工芸品17号 真宗大谷派用」



▲ 【名古屋提灯】

名古屋提灯は明治初期には貴重な輸出品としてもはやされ、全国一の生産を誇った時期もあったといわれる。現在は、盆提灯・観光土産用提灯などが多く生産されている。

- ・補助金交付団体名 名古屋提灯製造組合
- ・新商品名 「段積み大型ちょうちん」

評価軸③-34

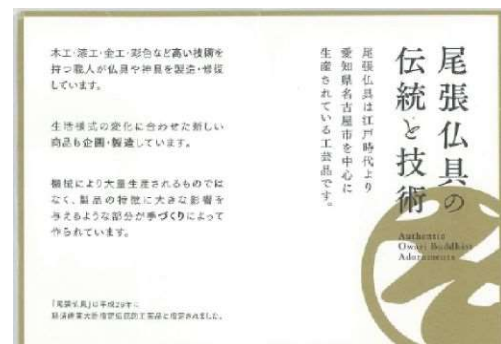
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
伝統産業製品PR事業助成		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業製品に対する需要を喚起するため、広く消費者に伝統産業製品のPRをするイベントの出展経費及びPRのための冊子・パンフレット等を作成する経費等に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業製品PR事業補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体)			
・平成30年度補助金交付件数:7件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:3件、体験教室等:3件)			
・令和元年度補助金交付件数:5件(展示会等出展:3件、PR冊子等作成:2件)			
・令和2年度補助金交付件数:4件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:3件、体験教室等:0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		今後も伝統産業製品のPR支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。	

状況を示す写真や資料等



- ・補助金交付団体名
尾張仏具技術保存会
- ・事業内容
ホームページ制作(伝統工芸士22名の紹介ページ)



- ・補助金交付団体名
尾張仏具技術保存会
- ・事業内容
認定ロゴカード・シールの制作



- ・補助金交付団体名
名古屋友禅黒紋付協同組合連合会
- ・事業内容
展示会「名古屋友禅名古屋黒紋付染展」



- ・補助金交付団体名
名古屋提灯製造組合
- ・事業内容
パンフレット作成



項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
名古屋市民芸術祭			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成2年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	総合的な市民文化芸術の祭典として、毎年、10月・11月の2ヶ月間にわたって、主催事業とコンテスト方式の参加公演事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度の名古屋市民芸術祭については、コロナ禍における開催ということで、参加公演の部門ごとのコンペティションを行わず、より多くの文化芸術関係団体を支援するために、参加公演数の上限を20件から50件に拡大して行った。 伝統芸能部門は、参加枠の拡大に伴い、例年より参加公演数が増加して6件の参加となり、コロナ禍において難しい対応を迫られている中、より広く公演機会の確保や金銭的支援を行うことができた。 (伝統芸能部門 参加公演数: R1,H29,H28は4公演 H30は3公演 市民芸術祭賞: R1,H30,H29は1公演 H28は該当なし 市民芸術祭特別賞: R1,H30,H29,H28は1公演)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	コロナ禍における開催となるため、感染拡大状況などを踏まえて、公演開催や鑑賞方式について慎重に検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
 淡交会別会 故橋岡慈観師七回忌追善 日程: 11月3日(火・祝) 会場: 名古屋能楽堂			
●参加公演事業(伝統芸能部門) 令和2年度(参加公演数 6公演) ・日本舞踊瑞鳳流家元継承10周年記念 第4回瑞鳳澄依りサイタル～コロナ禍の中で～(参加者100人) ・出雲草 語り舞 11th Live～光と影～(参加者74人) ・淡交会別会 故橋岡慈観師七回忌追善(参加者278人) ・第64期第3回名古屋宝生会定式能(参加者261人) ・よし乃会 近松の世界 そのI(参加者185人) ・平野倮山尺八演奏会(参加者40人) ※コンペティションは実施せず。 令和元年度(参加公演数 4公演) ・市民芸術祭賞 「第6回 桜美の会 一部」 参加者数580名 ・市民芸術祭特別賞 「杵屋喜鶴 喜鶴の調べ～垣根を越えて～」 (チャレンジ賞) 参加者数473名 平成30年度(参加公演数 3公演) ・市民芸術祭賞 「杵屋見佳 長唄三味線演奏会～My Mother's Long Wish～」 参加者数300名 ・市民芸術祭特別賞 「都山流尺八峰山会 (企画賞) 竹の響き VOL.5『管管共響』～洋々たる奏楽の音～」参加者数330名			

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
なごや子どものための巡回劇場			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和55年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	次代を担う子どもたちを対象に、伝統芸能・人形劇・児童劇・交響楽・バレエなどを身近な生活圏において、低料金で楽しんでもらうため、文化小劇場や区役所講堂・ホールを会場に、各区を巡回して公演を行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、公演を中止し、代替策として無観客上演を収録し、Youtube事業団公式チャンネルSMILE×SMILE NAGOYA等にて公開した。自宅にいながらも、次代を担う子供たちに、名古屋の伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供する。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和2年度は公演を中止し、動画の公開により事業を実施したが、本事業における他ジャンルの公演に比べ、再生回数が少ない結果となった。公演実施の際も同様に他ジャンルに比べ来場者が少ない傾向にあるが、子どもたちにとっては、数少ない伝統芸能に触れる機会であるため、より多くの方にご来場いただけるよう、実演団体等と引き続き協力していく。	
状況を示す写真や資料等			
新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、公演を中止し、代替策として無観客上演を収録し、Youtube事業団公式チャンネルSMILE×SMILE NAGOYA等にて公開した。 【令和2年度 伝統芸能公演】 公演団体・公演名: 狂言 共同社「狂言がやってきた！」 収録日: 令和2年8月19日(水) 会場: 北文化小劇場 ウェブサイト公開期間: 令和2年9月29日(火)～令和3年1月11日(月・祝) 再生回数: 486回			
			
※令和2年度の収録時の様子			

評価軸③-37

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
名古屋市芸術文化団体活動助成		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和48年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 伝統芸能の活動団体など、市内を活動の基盤とする芸術文化団体の日常活動の成果発表事業の経費の一部を助成することにより、市民の芸術文化活動の振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統芸能分野(鑑賞団体への助成実績)

令和2年度 0件、令和元年度 0件、平成30年度 1件、平成29年度 2件

音楽分野(邦楽)助成実績

令和2年度 0件、令和元年度 0件、平成30年度 1件、平成29年度 2件

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

伝統芸能の分野については、毎年申請が少ない状況にある。補助年限が連続3年までと決まっているため、長く活動している団体は既に交付年限が切れてしまっていることが多く、伝統芸能の分野で新興団体が少ないことが理由として考えられる。なお、この助成制度は他の制度に移行する経過措置中のため、令和2年度より新規募集は行っていない。

状況を示す写真や資料等

○補助対象となる団体

音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・美術・映画等の芸術文化の領域において、組織的、継続的に創造・鑑賞及び研究活動を行い、当該年度の4月1日現在で、創立3年以上を経過し、直近3年間で1回以上名古屋市内での自主文化活動実績がある団体

○補助対象となる事業

当該年度の4月1日から3月31日までに実施される(全事業が完了するもの)、広く市民を対象にした市内公開事業、政令指定都市等で実施する事業で、営利を目的としないもののうち、下記表の左欄に該当するもの

○補助対象とならない事業

①政治的または宗教的な事業 ②稽古ごと・習いごと等のおさらい会や発表会 ③チャリティー事業 ④名古屋市から助成金を得て実施される事業 ⑤文化芸術団体以外との共催事業 ⑥名古屋市内の会場で行う事業など

補助対象となる事業	補助金の額
1 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台関係の創造団体が、構成員自らの出演による舞台公演を市内の会場で行う場合	会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とする。
2 絵画・書・彫塑・工芸・写真等の美術創造団体が、構成員自らの作品を市内の会場で発表する展覧会	会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、15万円を限度とする。
3 映画を自分たちで創る団体が自らの作品を市内の会場で発表する上映会	
4 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台芸術及び映画の鑑賞団体が、構成員自らの自主性に基づく企画で市内の会場を使用して行う鑑賞会	会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とする。
5 芸術文化団体が政令指定都市または東京都特別区で実施する上記1～3の事業(他都市事業)で、その前後6月以内に、事業の事前周知又は成果の発表のために行う同種の市内事業を伴うもの(都市交流事業)	上記1は会場使用料の2分の1以内の額。2、3は会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、他都市事業及び市内事業それぞれが15万円を限度とする。

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 重点区域内に残る市指定文化財の山車などの保存及び活用を引き続き支援していく。また、志段味地区を重点的に施策を展開し、主要な古墳については、史跡指定を検討し、保存を担保するとともに、基本計画の策定を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・市域南部東海道周辺の祭礼行事について調査事業を継続実施した。
- ・コロナ下での各町の対応を記録した。
- ・国の有形文化財の登録に向けた調査を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

文化財調査、文化財指定を通じて、文化財を後世に引き継いでいく。

状況を示す写真や資料等

【東海道周辺の山車行事調査】

- ・鳴海・有松などの祭礼文化、山車行事について詳細調査を実施



鳴海裏方花井町山車旧部材



鳴海表方相原町の装束、提灯などの虫干し作業の様子

【国の有形文化財の指定に向けた調査】



道徳公園内クジラ池の文化財調査

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・「歴史の里」整備事業(古墳等の整備) ・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) など		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「歴史の里」整備事業については、平成31年4月に古墳群の拠点となる施設「体感!しだみ古墳群ミュージアム」がオープンした。令和2年度は、82,549人が来館し、全体ネットワーク化を図るための案内板、サイン等の整備し、引き続き、古墳等の整備を実施していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		古墳整備箇所等について定期点検を実施しているが、劣化、補修が必要な箇所が発生してきており、順次対応を進めている。	
状況を示す写真や資料等			
○「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)  (外観図)  (キッズコーナー「こどもこふん」) 展示収蔵施設【体感!しだみ古墳群ミュージアム】 ○延床面積 1,560㎡ ○主な居室 展示室・収蔵庫、体験活動室、キッズコーナー「こどもこふん」、カフェレストランなど			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
・防災・防犯に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) ・文化財防火デー等の防災訓練の取組			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	指定文化財に設置された消防設備の確認や防火訓練、防犯設備や防犯体制についての確認、志段味地区の古墳の安全管理施設の整備等、文化財パトロール員の巡視等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財施設・所有者のうち、文化財防火デーに合わせて13施設を抽出し、市消防署及び自衛消防団と協力・連携して防災訓練及び消防施設・防犯設備の査察を実施している。 また、市文化財パトロール員を活用し、志段味地区の古墳を含めた市内に存する文化財を定期的に巡視し、災害等の報告を受けた場合はすぐに対応して文化財の保護・管理に努めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		指定文化財建造物の件数が非常に多いため、順次ローテーションを図りながら巡視を継続し、防犯設備の充実を働きかける必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
文化財防災デー(令和3年1月26日)における防災訓練の実施 <富部神社>  放水銃の取り扱いについて確認  放水訓練 <名古屋市役所>  火災図上訓練 <日泰寺>  消火器による初期消火			
【令和2年度 文化財防災デー消防訓練実施施設(計13施設)】 揚輝荘・覚王山日泰寺(千種区)、名古屋市市政史料館(東区)、聖徳寺(北区)、善光寺別院願王寺(西区) 名古屋市役所(中区)、大須観音寶生院(中区)、八事山興正寺(昭和区)、熱田神宮上知我麻神社(熱田区) 富部神社(南区)、服部家住宅及び有松・鳴海協会館一帯(緑区)、蓮教寺(名東区)、植田八幡宮(天白区)			

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援(保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) ・「歴史の里」整備事業(公開活用事業) ・山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業 など
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成31年4月に古墳群の拠点となる施設「体感! しだみ古墳群ミュージアム」がオープンした。令和2年度は、82,549人が来館した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、体感! しだみ古墳群ミュージアムをはじめとした「歴史の里 しだみ古墳群」へ多くの方に来訪していただけるよう、様々なイベントを実施していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



しだみゆー秋イベント



西大久手古墳の発掘調査体験

行事名	期 間	参加人数
しだみゆー寄席	6月28日(日)	54
リアル謎解きゲーム	7月18日(日)から9月22日(火)	1,404
子ども研究員養成講座	7月29日(水)	15
石から絵の具をつくろう	8月4日(火)・5日(水)	111
ホウキモロコシの収穫&竹の伐採	8月9日(日)	26
草木染を楽しもう	8月10日(月)・11日(火)	84
サンドアートパフォーマンス koheiの砂物語	8月15日(土)・16日(日)	291
夜の音楽会 天空のテノール	8月29日(土)	400
しだみゆー古墳散策	10月31日(土)	23
しだみゆー秋イベント	11月8日(日)	6,491
古代の星空を体感しよう!	11月14日(日)	30
草木染講座	11月29日(日)	28
しだみゆー寄席	12月6日(日)	45
お庭に埴輪プロジェクト	1月24日(日)・2月7日(日)	32
寄せ植え講座	2月28日(日)	16
計		9,050

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・埋蔵文化財包蔵地についての周知及び開発との適切な調整(①・②) ・市内での開発行為における住宅都市局建築審査課との連携(①) ・名古屋城跡・志段味古墳群の発掘調査など(③～⑥)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布。名古屋市公式ウェブサイトにて埋蔵文化財の取り扱いに関する説明ページを掲載。 名古屋城跡堀手馬出石垣解体にともなう発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査、勝手塚古墳発掘調査 令和元年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布(①)。名古屋市公式ウェブサイトにて埋蔵文化財の取り扱いに関する説明ページを掲載。 名古屋城跡本丸内堀石垣発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査、西大久手古墳発掘調査 令和2年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布(①)。名古屋市公式ウェブサイトにて埋蔵文化財の取り扱いに関する説明ページを掲載(①)。民間開発事業に伴う発掘調査の実施(②)。 名古屋城跡本丸内堀発掘調査(③)、御深井丸発掘調査(④)、堀手馬出石垣発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査(⑤)、西大久手古墳発掘調査(⑥)、東谷山27号墳発掘調査			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		埋蔵文化財包蔵地における文化財保護法の手続きを、より周知していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
 「埋蔵文化財発掘の届出」を忘れていませんか？ 埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地(周知の埋蔵文化財包蔵地)において、地面を掘る工事等を行う場合、工事着手予定日の60日前までに、文化財保護法に基づいて届出をすることが義務付けられています。無届けでの工事着手は違法行為となります。名古屋市内の埋蔵文化財に関するご相談は下記までお問い合わせください。 詳細につきましては、名古屋市公式ウェブサイトでご案内しています。 ○埋蔵文化財の取り扱いについて http://www.city.nagoya.jp/koumori/courtesy/2427490000000.html 〈埋蔵文化財に関する問い合わせ先〉 名古屋市埋蔵文化財調査課 〒460-8508 名古屋市中区二の丸三丁目1番1号(名古屋中役所 本庁舎3階) 地下鉄丸の内線(市役所)駅南徒歩1分、南バス「蔵前バス」駅南徒歩1分、 名鉄瀬戸線「東大寺」駅南徒歩5分 電話番号 052-972-3269 ファックス番号 052-972-4302 電子メールアドレス a320@city.nagoya.lg.jp ②民間開発に伴う発掘調査(高蔵遺跡2020.7.15)  ④御深井丸発掘調査  ③本丸内堀石垣発掘調査(2021.3.11)  ④御深井丸発掘調査  ①埋蔵文化財届出啓発チラシ  ⑤二之丸庭園発掘調査(2021.3.8)  ⑥志段味古墳群・西大久手古墳発掘調査(2020.12.2) 			

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
旧鳴海町役場など4件認定へ 名古屋市「認定地域建造物資産」	令和2年7月29日	中日新聞
中小田井 町並み歩いて 西区の街道沿い 保存地区	令和2年8月8日	中日新聞
水面に映えるテレビ塔 18日開業ヒサヤオオドリパーク	令和2年9月15日	朝日新聞
有松絞りの眠る反物 桜台高へ 岡家住宅の今後 観光拠点施設へ市が整備方針	令和3年1月17日	中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画に位置付けられた事業のうち、特に新たな展開のあった事業や歴史まちづくりに関わるイベント等について、報道により市民の関心の向上につながったと考えられる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	今後もメディア等を通じて市民の関心に訴えていくことが必要である。

状況を示す写真や資料等



令和2年7月29日 中日新聞



令和2年9月15日 朝日新聞



令和2年8月8日 中日新聞



令和3年1月17日 中日新聞

項目

観光客数の動向について

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本丸御殿の復元工事・公開をはじめ、文化財の整備が進む名古屋城において、入場者数が右肩上がりであったが、令和元年度に発生した新型コロナウイルスの影響で令和2年度は大幅に入場者数が減少し、前年度の約1/4となった。本市全体の観光客入込数については、平成25年度の本丸御殿第一期公開開始からゆるやかに増加しているが、令和2年は新型コロナウイルスの影響で減少すると見込まれる。(統計上令和元年末までしか公表されていない)

進捗状況 ※計画年次との対応

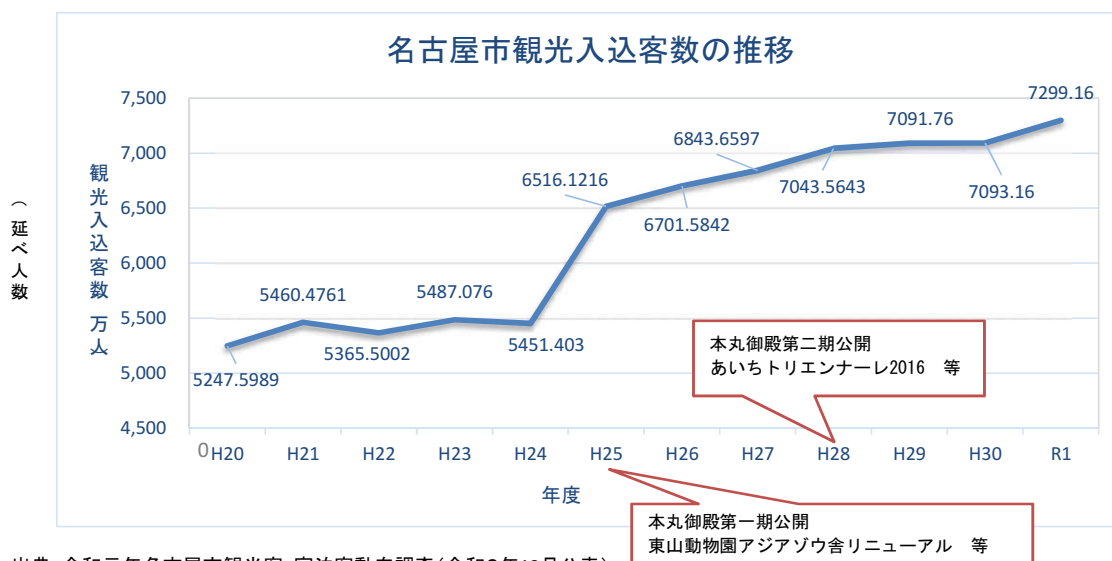
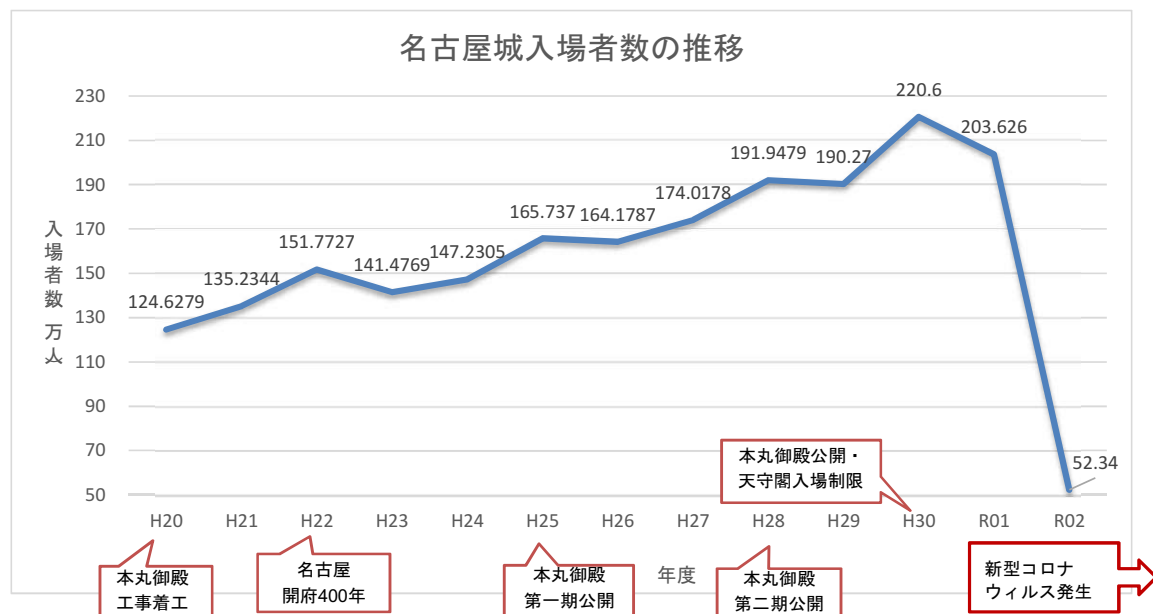
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

コロナウィルスの影響で観光客が激減しているため、新しい観光の形を検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



出典: 令和元年名古屋市観光客・宿泊客動向調査(令和2年12月公表)

⇒観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準(平成25年3月改訂)」に基づき
平成29年より調査期間を年度から暦年に変更。

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会(書面会議)	
会議等の開催日時： 令和3年5月7日(金)～5月18日(火)	
(コメントの概要) <令和2年度進捗評価全体について> ・コロナ禍による影響が見られるものの、計画は進捗していると評価できる。しかし、コロナ禍により事業の進め方に新たな知見が得られた可能性がある。これらについてもまとめておくとい。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が随所にみられるが、事業全体を俯瞰すると、概ね順調に進捗しているものと評価する。 ・新型コロナウイルス感染症の影響に対して、感染防止対策を講じつつ事業を実施したり、映像撮影及び配信など様々なツールを活用して新たな保存・活用の方策が講じられているので、適切に評価及び課題抽出・対応方針の決定を行い、今後の歴史的風致維持の向上に活かしてほしい。 <主な個別事業等について> ・③-1「名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備」、③-2「名古屋城二之丸庭園の整備」、③-3「名古屋城石垣の整備」について、特別史跡名古屋城跡の本質的価値を高めるため、今後とも関係機関との適切な調整を図り、計画的に整備を進める必要がある。 ・③-11「徳川園の管理運営」、③-12「蓬左文庫の保存と公開活用」について、コロナ対策のため、どうしても対面での企画が中止になりがちだが、コロナも2年目に入ったことから、この状況を普通ならば足を運ばないが家で時間を持て余している人に対するアピールの機会と前向きに捉えて、違う視点で取り組むことも必要かと思う。 ・③-26「水上交通ネットワークの検討」について、計画にはないが、中川運河と堀川を行き来できる航路、つまり「松重閘門」の開通は、名古屋の観光・歴史学習においても大きなインパクトを持つと思うので、ぜひ検討してほしい。 ・③-27「『ものづくり文化のみち』推進事業」について、西区の堀川端では木材加工業が盛んで、合板技術も当地で開発された。現在、東京都江東区の「木材・合板博物館」でその歴史が展示されている。基礎的な「ものづくり」調査を期待する。 ・③-36「なごや子どものための巡回劇場」について、舞台公演をただ撮影して流すのでは単調になるので、カメラワークや編集などで、子どもが喜ぶテレビ番組のような臨場感を出すとい。オンラインならではの新しい取り組み方としては、家の子どもたちと一緒に狂言の動きを真似してみよう、といったアクティビティのようなことをすると喜んでもらえると思う。 ・④-1「文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど」について、コロナ下での各町の対応を記録する取り組みはとても良いと思う。通常とは違う状況を丁寧に正確に記録し、将来に残すのは大切な事業と考える。 ・④「文化財の保存又は活用に関する事項」全体について、市内の歴史的風致の中核をなす建造物を中心とする有形文化財、伝統的建造物群、祭礼を中心とする無形民俗文化財ならびに史跡・名勝・天然記念物等について、今後とも本計画に従い、適切な保存・活用を図る必要がある。 (今後の対応方針) ・新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業の進め方に変更が生じているため、今後もその状況を詳細に記載するよう努めるとともに、通常とは異なる状況下においても工夫により事業を進めることで、歴史的風致維持の向上に努める。 ・事業の進捗状況を市民によりわかりやすく伝えるため、制度内容や指標などについては特に留意し、今後も具体的かつ詳細な記載に努める。 ・全体を通し、進捗評価が各事業の一層の推進ないし見直しの契機となるよう、今後とも努める。	